

地域のよさを生かし、地域に貢献できる学校をめざして

下関市立本村小学校

学校運営協議会について

- [第1回] 学校経営方針の説明と承認、本村小の特色ある取組について
- [第2回] (玄洋中学校区合同学校運営協議会)
地域協育ネットについて、本年度の各校の取組について
- [第3回] 第1回学校評価についての意見交換、各部(知・徳・体)における熟議
- [第4回] (玄洋中学校区合同学校運営協議会)
地域連携・小中連携に係る取組、来年度の夏季休業について
- [第5回] 第2回学校評価結果についての協議、児童の様子について
- [第6回] 学校評価書の取りまとめ、来年度の重点目標等の検討

特色ある活動

- ◆ 「ふるさとに誇りや愛着をもち、地域の担い手としての意識」の育成に向けた取組

本校では、現在、23名の子供(2年生以上)が、「平家踊りを受け継ぐ子の会」に入会している。毎週木曜日の18時から1時間半、太鼓、音頭、三味線の3部門を6名の地域の方から指導していただいている。その練習の成果を運動会、地域の盆踊りや地蔵祭り、下関市の馬関祭り、彦島地区文化祭等で披露している。さらに、今年度は、長州出島に立ち寄っている外国船に乗った観光客にも平家踊りを披露した。また、本校では、1・2年生が平家踊り、3・4年生が太鼓、音頭、三味線の学習を年8回、教育課程に位置付けている。この学習をきっかけとして、平家踊りに関心をもった子どもたちが、「平家踊りを受け継ぐ子の会」に入会している。

第1回の学校運営協議会で、本校の特色である取組として、「平家踊り」の紹介をした。委員さんからも、「本村小の伝統であり特色である平家踊りをこれからも継続していくことは、地域への誇りや愛着をもつことになるとともに、地域の方へのあこがれの気持ちをもつことにもなる。」というご意見をいただいた。



↑ 熟議



↑ 長州出島での平家踊り

来年度に向けて

学校運営協議会の委員さんから、「せっかく小学校で平家踊りの演奏をしていた子供が、中学生に進学以降、続けないことがもったいない気がする。」という意見が出た。本年度は数名の子供が中学校の運動会で披露する平家踊りの手伝いを行ったが、小中連携の取組を通して、地域の指導者と小学生、中学生がより関わりをもち、地域に貢献できる学校づくりをさらに推進していきたいと考えている。

「地域を愛する西山っ子の育成」をめざして

下関市立西山小学校

学校運営協議会について

学校運営協議会は、小中合同学校運営協議会を含め年5回行っています。年度当初に学校教育活動と地域行事を照らし合わせ、年間を通して効果的に地域との交流が行われるように、組織を「学習」「環境安全」「地域交流」の3部会で構成して計画を立て、学期ごとに振り返りを行い、改善を図っています。

	主 な 協 議 内 容	
第1回学校運営協議会	学校運営全体構想の説明	組織作りと年間の活動計画
第1回小中合同協議会	平成31年度活動計画	各学校の取組紹介
第2回学校運営協議会	「進んで学ぶ子を育てる」というテーマで教職員と地域の方とで熟議（3部会）	
第2回小中合同協議会	各学校の現状（学力・生徒指導）	玄洋校区がめざす児童・生徒について
第3回学校運営協議会	学校評価結果報告	来年度学校教育目標の承認

特色ある活動

◆南風泊漁港とフグの放流

校区にある南風泊漁港で、フグの供養祭の後、フグの稚魚の放流を1年生が行っています。フグの水揚げをする南風泊漁港がある西山小校区ならではの体験です。また、5年生は総合的な学習の時間で「地元の水産業」をテーマに南風泊漁港を見学し、たくさんのことを学びました。



◆マリンビーチ清掃

毎年の海開きに向けて、玄洋中の生徒と6年生と地域の企業の方々と一緒に校区にある海岸の清掃を行っています。地域に貢献するとともに、地域の自然の良さを再認識し、地域の企業の方と交流する場となっています。



◆ふれあいウォーク

地域の自然や人や文化に触れながら校区を巡る活動を毎年行っています。今年は地域の工場とマリンビーチを回って老の山公園までのルートでした。6年生は地域のことを調べて、見学場所ごとに下学年にクイズを出します。縦割り班ごとに歩いて回るため、保護者や地域の方に見守られながら活動を行いました。



来年度に向けて

今年度から幼・保・小連携を意識して、こども園と1・2年生の交流を新しく設けました。また来年度は、これまで以上に幼・保・小・中連携が図れるよう「地域連携カリキュラム」の作成に向けて準備を始めています。その内容についての協議も引き続き行います。さらに学校での取組の情報発信も行い、保護者・地域の方へ協力をお願いして参ります。

「地域とともにある子どもの育成」

下関市立玄洋中学校

学校運営協議会について

定期的（1回／学期）に学校運営協議会をもち、「地域とともにある子どもの育成」について熟議を重ねている。学校教育目標を基軸として、学校の近況、情報交換、授業参観および授業評価などを常に議題に挙げ、「めざす生徒像」を意識した取組を行っている。

年2回開催される校区内合同学校運営協議会では、9年間を見据えた「玄洋校区のめざす児童・生徒の育成」を図るために小中学校が連携して同じ議題を協議している。また、分科会をもつ中で子供達の地域および学校での様子をより細かく情報交換するとともに今後の児童生徒を育成する手だてを話し合っている。小中連携による熟議により課題を明確にすることで、校区内の学校運営協議会と協働した教育活動を展開している。

特色ある活動

<地域貢献>

- ・「ヒコットランドマリナービーチおよび校区内地域の清掃活動」
校区内の小学生と中学三年生、自治会そして地元企業と連携して大規模な清掃ボランティア活動を行った。

- ・「自治会、老人会と協働のボランティア清掃参加」

自治会や老人会と協働する清掃活動に、生徒がボランティアとして参加することにより地域との絆をより深める活動となっている。

- ・「あいさつ運動」

毎月0のつく日に、生徒会を中心に保護者も参加して「あいさつ運動」を行っている。特に10日は「彦島あいさつの日」として本校区と彦島中学校区が協力して保護者・地域の方々と朝のあいさつ運動を行い「地域とともにある学校」を発信している。

<学校支援>

- ・「平家踊り」

地域の伝統舞踊「平家踊り」を保存会の方々から指導を仰ぎながら、全員参加による活動として体育祭の中で「平家踊り」を披露している。地域のよき伝統を引き継ぎ、地域愛と絆をより深めている。特に今年度は、本校体育祭に小学生の応援参加をいただき「平家踊り」を披露することで小中連携の取組をより深めることができた。

- ・「家庭科の授業支援」

家庭科の裁縫実習授業において、地域の方々に授業に入っただき、生徒に寄り添い、声かけ、アドバイスをいただきながら授業を進めている。

- ・「読み聞かせ」

1年生（学期に1回は全学年）を中心として、地域の方々から朝学習・読書の時間を活用して、時節や発達段階に応じた心のこもった「お話」をしていただいている。



来年度に向けて

本校区は、「子どもの育成」における教育活動に関心の高い地域である。そこで、子供の成長を視点にした方向性や課題を共有しながら、来年度は下関中等教育学校とも連携し、より一層の地域連携を深め学校運営協議会と協働した教育活動を展開していきたい。